

# 提 言 書

重層的支援体制整備事業の取組について

令和 5 年 10 月

浜田市議会 福祉環境委員会

## 1 はじめに

福祉環境委員会では、「就労支援を含めた障がい者支援」を取組課題のテーマとして所管事務の調査研究活動を進めてきた中で、既存の相談支援や地域づくり支援の取り組みを活かし、子ども・障害・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では対応しきれないような“地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズ”に対応する包括的な支援体制として「誰一人取り残さない支援体制の充実」の必要性に行き着きました。

「福祉のまち浜田」を目指すために浜田市と市議会が一緒に取り組むべき課題について「重層的支援体制整備事業の取組」も、この度同時に提言としてまとめましたので、「就労支援を含めた障がい者支援に係る提言書」と共に実施し、福祉行政の推進に努めていただくことを併せて強く要望します。

## 2 提言

### (1) 重層的支援体制整備事業の取組について

相談者の複合化・複雑化した課題を解決するためには、従来の縦割り体制では対応が困難なことから、庁内他部署との連携や官民協働の多機関連携・相談に応じるための事業構築が必要と考える。

その一つとして、全庁における「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する取組を求めたい。

正に、重層的支援体制整備事業を導入し、現存する地域資源の掘り起こしと民間活力の活用、並びに民間支援団体等との連携を重視したネットワークの構築が必要である。

さらに、市民からの相談を受ける意識の醸成と庁内の共通認識づくりのもとでの担当課、担当職員での問題意識の共有化を図るべきである。

・福祉の課題解決は、地域の課題解決にもつながることから、まちづくりの観点から全庁的に取り組まれない。

・まずは、タスクフォースによる課題検討やワーキンググループでの協議を通じ明確な目標設定と推進に向けた組織(チーム等)を立ち上げ、併せて、職員のコーディネート力及びファシリテート力アップのための研修等を実施されたい。

・重層的支援体制整備事業の中で、職員による支援体制構築ワーキンググループの設置や職員研修の充実に努め、先進地で活用されているつなぐシートの活用、相談者・支援者双方の負担軽減を図られたい。

・せっかくある支援の制度や仕組みが、必要な人に知られていないことも課題であり、必要な人へ届く情報の出し方や相談窓口の周知方法の明確化を図られたい。

・多種多様な民間活力の掘り起こしと参画を促し、官民の多機関連携による包括的な支援体制を構築するため、重層的支援体制整備事業に取り組まれたい。

## 福祉環境委員会

委員長	小川 稔宏
副委員長	村木 勝也
委員	村武 まゆみ
委員	柳楽 真智子
委員	岡本 正友
委員	川神 裕司